

北京2022冬季オリンピック 小平奈緒選手

スピードスケート
500m 17位
1000m 10位

茅野市出身の小平奈緒選手はスピードスケート女子500m(2月13日)、女子1000m(2月17日)に出場し、それぞれ17位と10位でした。小平選手はレース後、オリンピック開幕直前の1月後半に右足を捻挫し、一度絶望的な状況に陥ったことを明らかにし、苦しみながらも今日を迎えたことを語りました。

オリンピック前に小平選手が語っていた、「生き様をレースで表現する」ということについては「成し遂げることは出来なかったが、やり遂げることは出来た。」と語ったように、力を振り絞ったレースでした。多くの人に夢と感動を与えてくれた小平選手に、茅野市からの大きな拍手が届きますように。また、小平選手はSNSで「シーズン最終レースに向けてトレーニングを再開した」と投稿していました。これからも小平選手らしいスケートで自身を表現してほしいと思います。



写真：時事



写真：松尾/アフロスポーツ

感動と勇気を
ありがとう



写真：青木紘二/アフロスポーツ

北京2022冬季オリンピック 小池克典選手

ショートトラック
500m 出場
5000mリレー 8位

ショートトラック男子500m予選の2月11日に登場し、オリンピックに初出場をしました。同組のベルギー選手との3位争いに敗れ、準々決勝進出を逃しました。その500m予選が行われた約35分後には、男子5000mリレー準決に出場。小池選手ら日本代表チームは、終始後方から逆転を伺いましたが、流れをつかめず決勝進出を逃しました。2月16日には男子5000mリレー準決勝に臨



写真：時事



写真：エンリコ/アフロスポーツ

み、日本代表チームはレース中盤で先頭に立つ場面もありましたが、8位でレースを終えました。小池選手はレース後、「ついでにければアンカー勝負になれたと思うので、そこが敗因になってしまった」と悔しさを語りました。個人種目を含め、小池選手がオリンピックの大舞台に挑む姿は、多くの方に勇気と感動を与えてくれました。

夢への挑戦の舞台

写真：AP/アフロ